

日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する

臨床研究について

整形外科が対象としている運動器疾患（外傷、加齢性疾患、感染症、先天性疾患、腫瘍など）は小児から高齢者まで幅広い国民が罹患し、国民の健康寿命を損なう主因のひとつです。また、運動器疾患に対する手術件数は特に高齢者を中心に年々増加しております。

しかし、これまでは全国規模の包括的な医療に関するデータベースが存在せず、詳細は不明のままでした。そこで2020年4月から日本整形外科学会が中心となり、運動器の病気やけがに対する手術を受けられる患者さんを対象としたデータの登録、データベースの作成が始まりました。このデータベースのことを、日本整形外科学会症例レジストリー（Japanese Orthopaedic Association National Registry : JOANR）と呼びます。

このデータベースが構築されれば、全国の整形外科医師が多くの有益な情報を共有でき、有効な手術療法の理解や安全性を把握することが可能になります。日本整形外科学会が主導している本レジストリー作成に当院も参加・協力し、整形外科の発展とよりよい患者さんへの医療向上に貢献していきたいと存じます。（なお、日本整形外科学会会員は、本レジストリー作成への参加が義務づけられています）

データは疾患・手術に関する内容のみの登録で匿名化されており、患者さんに対する侵襲や介入はなく、不利益が生じることはありません。また登録については後述する（オプトアウト）により、患者さんの意思に基づき拒否されることも可能です。

『日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する臨床研究』はオプトアウトの対象となっておりますので、本研究への協力を希望されない場合は、研究担当者までお知らせください。